

■重点施策の考え方について

- ・現計画では施策体系上位置づけのない重点施策を施策体系上に位置付ける。
- ・次期計画の3年間で重点的に行う事業を選定する。
- ・重点施策の選定にあたっては、令和4年度に実施した「川越市障害者福祉に関するアンケート調査」の設問項目「市が充実させていけばよいと思う障害者施策」の回答結果を考慮する。

●川越市障害者福祉に関するアンケート調査報告書

「市が充実させていけば良いと思う障害者施策」の上位5項目及び関連する自由記述

No.	項目	割合
1	経済的な援助	25.1%
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援を強化して欲しい。確かに生活保護はあるが、それは自力で不可能な場合であり、可能な限り自力で何とかしたい。 ・将来について不安があるので、経済面でも特に支援が欲しいです。将来が不安で精神的にも追いつめられ、辛い日も多くあります。 	
2	就労支援の充実	19.8%
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・就労先がなかなか見つからない(希望の所がない)。川越市内で、充実させてくると、市内なので通いやすい。 ・障害者への就職がまだまだ理解されない企業が多い。 	
3	差別・虐待防止の周知・対応の推進	19.0%
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・知的、精神的障害の境、グレーゾーンの人はこちらにも属せずつらい立場。 ・市内で勤務していた時に、「障害を持っていることが分かっていたら雇用しなかった」と言われた。こういった、表面化していない差別や虐待が多いと感じます。 ・時々見掛ける身障者をさける様な行動があるのは、とても残念です。 	
4	災害時の支援体制	18.4%
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の避難時に一般の方と一緒に無理ではないかと心配です。 ・災害の時に地区でその人に合った支援ができる様にしてほしい。 	
5	障害のある人の特性を知ってもらうための周知啓発	17.9%
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・双極性障害、摂食障害です。この障害について周知、理解は少なく、心無い言葉や差別を受けて苦しい時があります。他の障害もですが、より多くの方に知ってもらえる機会が増える事で、生きやすくなる方が増えると思います。 	

(回答者数=1,754人)